

令和2年度 社会福祉協議会活動全国会議 開催要項

1. テーマ	コロナ禍で社会福祉協議会に求められる活動とは
2. ねらい	<p>令和2年6月に社会福祉法が改正され、地域共生社会の実現に向け、市町村における包括的支援体制の構築を進めるため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が創設されました。各市町村における包括的支援体制の構築にあたっては、これまでの実践等を踏まえ、社協が主導的な役割を發揮することが期待されています。地域福祉推進委員会においては、こうした政策動向等を踏まえ、令和2年7月に「市区町村社協経営指針」を改定し、地域での関係団体や組織の「連携・協働の場」(プラットフォーム)としての社協の位置づけを改めて強調しました。</p> <p>一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社協の事業・活動や地域住民による地域福祉活動について、実施方法の変更など大きな変容を迫られています。これまで経験したことのない社会の変化に社協職員、地域住民が直面するなかで、新たな課題もみえはじめています。</p> <p>そこで、本会議では、地域共生社会の実現に向けた最新の政策動向を示すとともに、コロナ禍で直面する課題や新たな取り組みを参加者のみなさまと共有し、これからの社協活動について共に考えます。</p>
3. 主催	社会福祉法人 全国社会福祉協議会
4. 後援	厚生労働省 (予定)
5. 運営	全国社会福祉協議会・地域福祉推進委員会
6. 開催方法	<p>オンデマンド動画配信形式ならびにライブ形式の併用による開催</p> <p>① オンデマンド動画配信形式 動画サイトにログインし、動画をご覧ください形式です。動画の掲載期間中であれば好きなタイミングで動画をご覧ください。</p> <p>② ライブ形式 「zoom ミーティング」を利用してリアルタイムで参加する形式です。各テーマの所定の開催日時にオンラインにてご参加ください。</p>
7. 日程	令和2年11月30日(月)～12月下旬
8. 定員 (ライブ形式のみ)	<p>各テーマ 200人</p> <p>※事前登録が必要です。別添の案内書をご覧ください、ご希望の回に参加登録をお願いいたします。</p>

9. 参加申込締切 (ライブ形式のみ)	令和2年11月24日(火) ※定員になり次第締切 申込フォームは11月13日(金)よりオープンいたします。
10. 参加対象	社会福祉協議会役職員及び地域福祉関係者
11. 参加費	無料

12. プログラム

オンデマンド動画配信形式部分

30分動画 (予定) 【行政説明】

「地域共生社会の実現に向けた施策動向と社協の事業・活動の課題 (仮題)」
厚生労働省社会・援護局地域福祉課

30分動画 (予定) 【基調説明】

「地域共生社会の実現に向けた施策動向とコロナ禍をふまえた
社協の事業・組織基盤の強化について (仮題)」
全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太

オンデマンド動画配信形式で使用する資料について

資料はオンデマンド動画配信サイト上に掲載いたします。ご自身でダウンロードしていただき、お手元にご用意いただきますようお願いいたします。

○オンデマンド動画の掲載サイトについて

オンデマンド動画は、「地域福祉部研修動画サイト」に掲載します。「地域福祉ボランティア情報ネットワーク」内のバナー、下記の URL よりアクセスいただけます。

動画サイトにログインするための ID・パスワードについては、都道府県・指定都市社協ならびに市区町村社協のみなさまに 12 月上旬ごろに「全社協 地域福祉部 NewsFile」の配信先メールアドレスにお送りします。なお、オンデマンド動画は令和 2 年度末までの公開を予定しております。

「地域福祉部研修動画サイト」

URL : <https://www.shakyo.or.jp/gyoumu/webseminar/index.html>

ライブ形式部分 「社協ラジオ コロナ禍に負けない！みんなでつくる社協活動」

○社協ラジオとは・・・

はじめに、事前に参加者のみなさまからいただいた課題意識などをもとに、聞き手が質問をしながら話し手の実践報告を引き出すラジオ風のやりとりをきいていただきます。その後参加者のみなさまにグループで実践報告への感想や気づき、お悩み・課題などを相互にシェアしていただく受講者参加型の研修形式です。



悩みや課題を共有しよう！



ライブ形式で使用する資料について

資料は zoom ミーティングの URL、ID・パスワードと一緒に E メールにて参加登録をいただいたメールアドレスにお送りさせていただきます。ご自身で印刷等の方法にてお手元にご用意いただきますようお願いいたします。

回	テーマ	開催日時	定員
1	コロナ禍での職場づくりについて	11月30日(月) 13時30分～14時45分(75分)	各テーマ 200名
2	コロナ禍での社協の相談援助活動について	12月7日(月) 13時30分～14時45分(75分)	
3	コロナ禍での社協の介護サービスについて	12月14日(月) 13時30分～14時45分(75分)	
4	コロナ禍での地域活動について	12月22日(火) 13時30分～14時45分(75分)	

※より多くの方にご参加いただくため、ライブ形式部分へのご参加はおひとりにつき1つのテーマのみとさせていただきます。ご了承ください。

テーマ1 コロナ禍での職場づくりについて

聞き手：加留部 貴行 氏（九州大学 客員准教授）

話し手：大竹 宏和 氏（東京都・豊島区民社会福協議会 地域相談支援課長）

話し手のプロフィール

社協で全局的に生活福祉資金の特例貸付業務を進め、業務の偏りを減らす工夫をされています。

現在、生活福祉資金の特例貸付等によって社協の業務は非常に多忙な状況となっています。一方で、通常の社協の業務を進めていかなければ状況等もあり、社協で働く職員の労働環境の整備も大きな課題となっています。

本テーマでは、現在生じている職場環境に関する課題やお悩みを共有し、ご参加いただいたみなさまの今後の取り組みのヒントとなるような気づきを得られる場とします。

参加申込 URL：<https://forms.gle/kePPP7juW6QiM1r78>

テーマ2 コロナ禍での社協の相談援助活動について

聞き手：新保 美香 氏（明治学院大学 教授）

話し手：森脇 俊二 氏（富山県・氷見市社会福祉協議会 事務局次長）

話し手のプロフィール

氷見市と氷見市社協で、官民協働の福祉に関する総合相談窓口を設け、包括的な支援体制の構築に取り組んでいます。

本年度前半から、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が停滞し、企業やそこで働く従業員の多くが大きな影響を受けています。そのような中、生活福祉資金の特例貸付等をはじめとする生活困窮者への支援について社協の相談援助活動が大きな役割を担っています。新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が予測される中、そうした社協の役割は今後より大きくなっていくことが予想されます。

本テーマでは、現在生じている社協の相談援助活動に関する課題やお悩みを共有し、ご参加いただいたみなさまの今後の取り組みのヒントとなるような気づきを得られる場とします。

参加申込 URL：<https://forms.gle/EiQuHgUSGXcx6h4Z6>

テーマ3 コロナ禍での社協の介護サービスについて

聞き手：小林 功 氏（長野県・富士見町社会福祉協議会 事務局次長）

話し手：渡邊 亮 氏（愛知県・名古屋市社会福祉協議会 在宅福祉部次長）

話し手のプロフィール

コロナ禍の過去2回の感染拡大の中で、感染の不安がある職員に対して、その不安を少しでも払拭するために何をすべきなのかという視点で事業を継続しています。

社協で提供している介護サービスも、他の実施主体同様、新型コロナウイルスの感染拡大による衛生備品の不足や職員が抱える感染の不安への対応、感染を恐れる利用者が介護サービスの利用を控えることによる減収といった、介護サービスの実施・経営などに関する多岐にわたる課題が生じています。

本テーマでは、現在生じている介護サービスの運営に関する課題やお悩みを共有し、ご参加いただいたみなさまの今後の取り組みのヒントとなるような気づきを得られる場とします。

参加申込 URL : <https://forms.gle/ddfYDSJxXudmnC8V6>

テーマ4 コロナ禍での地域活動について

聞き手：野村 裕美 氏（同志社大学 准教授）

話し手：勝部 麗子 氏（大阪府・豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長）

話し手のプロフィール

地域活動再開のためのガイドラインの作成や YouTube チャンネルの開設等といった、人と人との距離が離れていてもつながることができる工夫をしながら地域活動を再開しています。

新型コロナウイルス感染症によってサロン活動などの地域住民のつどいの場や、ボランティア活動といった地域活動が相次いで中止となりました。最近では少しずつ活動を再開する流れや、方法を変えて活動再開する動きが出てきています。しかし、未だに行政から地域活動を禁止されている等、地域活動の再開の目途が立たない地域も多くあります。

本テーマでは、現在生じている地域活動に関する課題やお悩みを共有し、ご参加いただいたみなさまの今後の取り組みのヒントとなるような気づきを得られる場とします。

参加申込 URL : <https://forms.gle/7S4xQkLNQRdt6MhdA>

13. 申込方法	11月24日（金）までにテーマごとに用意された上記申込フォームよりお申し込みください。※申込フォームは11月13日（金）よりオープンいたします。
14. 留意事項	オンデマンド動画ならびにライブ形式部分につきましては、特別な許可を得ない限り、録画・録音、写真撮影などを行わないようにしてください。
15. 必要な配慮について	手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、申込フォームの記入欄にてお知らせください。
16. 個人情報の取り扱いについて	申込フォームに記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
17. お問い合わせ	全国社会福祉協議会 地域福祉部 担当：根岸、岡崎 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル TEL：03-3581-4655 FAX：03-3581-7858 Eメール： z-chiiki@shakyo.or.jp

FAQ

Q1. 申込フォームから申込後、ライブ形式の参加者の変更はできますか。欠席時は連絡が必要ですか。

A1. ライブ形式の参加者の変更や欠席については本会地域福祉部まで E メール (z-chiiki@shakyo.or.jp) にて各開催日の前日 17 時までにご連絡ください。

Q2. ライブ形式に参加しなくても、動画視聴はできますか。

A2. 可能です。オンデマンド動画配信形式部分については参加登録は不要です。都道府県・指定都市社協ならびに市区町村社協のみなさまには自由にご覧いただけるよう、動画サイトにログインするための ID・パスワードをメールにてお送りします。

Q3. オンデマンド動画はいつまで視聴できますか。

A3. オンデマンド動画は令和 2 年度末までの公開を予定しております。

Q4. zoom ミーティング参加時の注意点を教えてください。

A4. <ライブ形式 (zoom ミーティング) の参加にあたって>

- ・ひとつの事業所から複数名参加される場合は、可能な限り参加者ひとりにつき 1 台受講可能な機器を用意してください。1 台のパソコンから複数名の受講も可能ですが、グループでの話し合いの際にご不便が生じる可能性があります。
- ・パソコンで zoom ミーティングに参加するには、マイク・カメラ・スピーカーが必要です。パソコンにそれらの機器がついていない場合、別途購入する必要があります。
- ・zoom ミーティングに参加する際は周囲の音声をマイクが拾いますので、事前に静かな場所を確保してください。もしくは、ヘッドホン、マイクの使用を推奨します。
- ・同じ場所で複数の端末から参加する場合はハウリングを起こしますので、ヘッドホンやイヤホンを使用して接続する等注意が必要です。
- ・参加時は、安定かつ高速で定額な環境が推奨されます。Wi-Fi ルータなどで通信量オーバーによる速度制限がかかると切れてしまいますので、十分にご注意ください。
- ・zoom への参加が初めての方は、申込前に以下の URL から接続テストを行ってください。
[zoom テスト] <https://zoom.us/test>
- ・zoom の操作方法は原則として本会では対応できませんので、zoom ヘルプセンターでご確認ください。
[zoom ヘルプセンター] <https://support.zoom.us/hc/ja>